

刊夕日九十月一十



定価 一部全紙一ケルニ於テ五割増 郵税五割
 廣告料 五割増 十二割増 行金五割増
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常磐毎日新聞社 福島県平町五丁目
 電話 六三三〇
 印刷所 常磐毎日新聞印刷株式会社 福島県平町
 電話 六三三〇

救護法に就て [二]

平町共済委員 辯護士 門傳清吾

第一條に掲ぐる者貧困の爲め生活すること能はざる時は本法に依り之を救護す

一、六十五才以上の老衰者
 二、十三才以下の幼者
 三、妊娠婦
 四、不具癱疾、疾病、傷疾、其他精神又は身体の障礙に因り勞務を行ふに故障あるもの

前項第三號の妊婦を救護すべき期間並に同項第四號に掲ぐる事由の範圍及程度は勅令を以て之を定む

第二條前條の規定に依り救護を受くべき者の扶養義務者扶養を爲すことを得るときは之を救護せず但し急迫の事情ある場合に於ては此の限に在らずと規定してあります。

右規定に依つて説明すれば本法に依り救護せらるる者の條件として第一に貧困者でなければならず然らば本法に所謂貧困者とは如何なる範圍程度の者を云ふかとの疑問に到着する字義通りに解すれば「貧しくて困つて居る者」と定義するを可とす

すへんも夫れては貧しくて困つて居る者と如何との疑問に到着する其處で具體的説明を要することになるのであるか、それは場所的に考察し實際の事情を基礎として決定するまゝを必要とする。何故ならば東京、大阪其他の大都市の生活者と一寒村の生活者とは其生活の態様人情を異にし収入支出の差等があり一定一率の標準を附し難く事情に在るの何人も肯定し得る様な定義を下すことは頗る至難であるから是は社會通念に依り解するの外ないと信し聊か徹底を欠く嫌はあるか左の如く定義したいと思ふ

貧困者とは常識上最低限度の生活を支持するに足る衣食住の要求を満すこと能はざる者なり

(右定義に對し更に適切なる定義あるは御教示を乞ふ)

縣社會課の言ふ處に依れば確實のものではないが本縣の標準で算數的に言ふと一日一人の収入二十五錢以下の者を貧困者と観て宜からうとのことであつたと記憶して居る即ち右に述べた

様な貧困状態で生活が出来ない者は原則として救護せらるゝ事になつて居るけれども更に以下述べる様な制限がある。

逃げた猿 [四]

矢野泰助

今井屋旅館の前までくると、人がしきりに上の方へいそいで居りました。

「猿が、居るのかもしれない」

「いそがう」

と、二人は走り出しました。

「小父さん、猿かい」

上の方から来た人に茂が開きました。

「うん、活版屋の屋根の上に居る、早く行つてみな」

「ぢや、宇一さんの家だ」

活版屋の前に来てみると、いつばいの人で道も通れぬ程でした。

「たー公も、みー公も、屋根から、人々を見て居りました、たー公は赤い帽子をあみだにかぶつてすましてゐました。

活版屋では、店のガラス戸も、二階の戸も閉めてありましたが、その隣の下駄屋でも、藥屋でも、店や二階の戸を閉めて、猿にはいれないやうに用心して居ました

■ 産名城磐 ■

らか鹽と節鯉

魚問屋

店理代平命生本日大最優最
 榮盛賀志
 番三一電 目丁四平

☑ 配達敏速 ☑

サロンの黒ビール

レストラン サロン

電話三五二

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄

平町田町 電話五一三番

内科小兒科 外科花柳病科
 耳鼻咽喉科 レントゲン科

貸切の御用命は?

獅子吼(四四九)ノ勢デ
 マツサキ
 眞先ニ……(マツサキ)
 ミノニ
 三九ニタクシーへ!!!

長男昌久儀本日葬送の際には遠路御會葬被下候みのならず御鄭重なる御香奠を賜はり難有御禮申上候拜趨御禮可申上等の處乍畧儀以書中御禮申上候

昭和六年十一月十九日

平町田町
 高野卯之吉
 親戚一同

三井吳服店

電話 三八四番

◆ 新型シヨール入荷 ◆

◆ 新柄豊富に取揃へました ◆

御婚禮衣裳七五三御祝着

◆ 着尺モスと本場銘仙 ◆

◆ 嶄新な柄大衆的なお値段 ◆

回冬衣暴落品新荷着回

醫學博士名推獎

胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症
 肥り度い人の福音 熱くなく痕つかず無煙式 誰にも出来る理想的家庭治療器

特許賣專

志賀齒科醫院
 福島縣平町五ノ廿八

特卸治 福島縣平町白銀町九
 約代理 產婆 關口 悦子
 販理療 福島縣平町白銀町九
 賣部部 產婆 關口 悦子

定價表

金拾參圓 藥及特效五週分付
 金拾圓 藥及特效五週分付
 (說明書呈)

二等局の面目大事と

簡保加入 勧誘に大童

交換嬢も繰出して

二萬口突破に全力

愈々明年度新規事業として別項健康相談所設置が内定した平局では元來同相談所は濱通りに一箇所もなく當然平町に設置されるものと云へ二等局の面目上簡易保険の責任契約口數

二萬口に達せしむべく去る十一日來係員は大童となつて新規募集に全力を注いでゐるが深刻な不景氣の世相にある現在叩頭百拜して獲得する新加入者よりも解約者を防止するのに腐心してゐる状態である

簡易保険は一口十錢以上になつてゐるので勧誘員は二圓三圓などの大口よりも三四十錢の小口の加入勧誘が得策とばかり戸

努力を拂つて今年末までに完全に二萬の契約者を得べく目下計畫を進めてゐるが今回の加入状態をみると一口七八十錢のものが大多數を占めてゐる模様

平局の現在の簡保加入者は之で一萬六千十一名に達し町内の紺屋町新川町

石局長以下交換嬢に至るまで全局員總出動といふ形で全町を戸毎に勧誘に當つた結果

昨十八日まで遂に三百五十七口の多數申込を受け此の金額は三百三十圓九十錢といふ頗る好成績を挙げ得たので此に元氣づいた係員は尙一段の

健康相談所

敷地行惱み 更に交渉中

豫ねて懸案であつた簡易保険健康相談所設置に關し愈々逕信省では明年度新規事業として平町に設置するべく内定し第一候補地として田町高久病院西隣空地を舉げたが地主側との交渉が纏らず目下行惱みの状態にあるがその他にも有力候補地とみられるもの二三あるため當局者は夫れ々交渉中である

このふ開會された

石城町村長支會 議題十五件上提

陳情事項も決定さる

昨十八日午前九時から平町役場會議室に於いて開かれた石城郡町村長支會は伏見平町長外郡内各町村長三十余名出席左の各事項を協議し午後四會散會した

- 一、入營兵付添に關する件、町村長聯合分會一町十四村より抽籤を以て附添人を選定すること
- 一、滿洲守備隊兵慰問弔へるはよくない、二回食、三回食、四回食の習慣の者は徐々にならして行きたいが學校では三回食であるから可なり困る兒童もあらうが止むを得ない辨當は家庭で食べる一食分の量だけは持たせてほしい、質は日常食ですこしも差し支へないが平町のやうな都會地の兒童には新しい野菜を多分にとるやうにしたい

完納は 鹿島村だけ

鹿島村だけ 競賣延期騒ぎに 係官持余す

係官持余す

陳情することになつた

縣稅務平出張所管内における五年後期及六年度前期の滞納競賣執行は來月七日平町を最初に執行されることと昨報の如くであるが今回の滞納額は二千件二千三百圓に達し管内三十四ヶ町村のうち完納をみたのは僅かに鹿島村だけであり一般に極度の疲弊に陥つてゐる山間部地方は件數最も多く而も件數の割合に金額が少なからず納稅義務觀念の乏しい處から督促を煩はす等の手数をかけており己むを得ず差押へた農耕馬の競賣には執行延期を嘆願する騒ぎを演ずるので係官も殆ど持て余してゐる状態である

川前村で 低資融通 悲惨な...

小作農救済

石城郡川前村では今年度の稲作状態が非常な收穫成を來し恰も明治三十五年の大洪水による凶作の如き状態にあるため村當局では低利資金の融通を受け之が救済にあてるべく協議中であるが同村の稲作は分業期における降雨と冷氣とで發育悪くその上過般の出水のため同村小作農などは全滅の有

家庭 養榮の童兒

間週養榮童兒

兒。童。童。童といふ言葉は教育方面では小學校在學中の者を云つてゐるから數へ年七歳から十六歳位までの者がふくまれる

榮。養。成人は生命を保つために兒童は生命を保つために更に身體の發育を遂げるために食物から必要な成分を吸収し人體の生活機能を行はせる事が即ち榮養であつてこの成分を榮養分と云ふ

食物。は一兩日間も攝食しなければ忽ち全身の衰弱を起し一ヶ月を絶食すれば遂に死亡するは普通であるが一日何回食へればよいか、一日何程の量をとればよいかは定まつては居ない

辨。當。兒童は生活力がさかんだから成人より一回位多く食べさせるのが理想であるが家庭の都合で出來難い凡て人は習慣を急にか

一、滿洲守備隊兵慰問弔へるはよくない、二回食、三回食、四回食の習慣の者は徐々にならして行きたいが學校では三回食であるから可なり困る兒童もあらうが止むを得ない辨當は家庭で食べる一食分の量だけは持たせてほしい、質は日常食ですこしも差し支へないが平町のやうな都會地の兒童には新しい野菜を多分にとるやうにしたい

缺。食。何所の學校でも

うなぎ料理

◇ いよいようなぎの季節.....
◇ 御用命はぜヒ江戸川へ

江戶川
平館前通り 江戶川
鰻料理專門 (電話六七七番)

十二年間勤續 元平町助役書記渡邊大次郎氏は大正八年次來十二年間平區裁判所管内平戸籍會に勤續功勞あつたので十七日中島裁判所長から金時計を添へて表彰された

往 來
△眞木辯護士 十八日午後二時十分上京

内務省技師視察 内務省土木局富永技師は昨十八日來平し小林平土木監督所長と共に石城郡一帯に亘る過般の水害状態を視察し國費補助下附の參考にするべく實地踏査の上明廿日歸京すると

小名濱消防檢閱 石城郡小名濱町秋期消防檢閱は昨十八日午前九時より同町海岸は於いて盛大に舉行されたが櫻村平署長齊藤警部補が臨席した

賣られゆく女が

平署へすがりつく

無道な主人の虐待に

男ともぐく自願願ひ

昨十八日午後三時半頃一名の若い女が髪振り亂して平署に駆け込んだが同女は石城郡豊岡村飲食店末廣の酌婦東京市本所區向島生れ大山テ(三)にて主家にて辛い務めに従つて居る間遂に主知れぬ胤を宿して本年八月

男の子を生んだが夫

れ以來健康が優れぬ爲め主人より強いられても無理な稼業は果せぬ處より業を煮やした鬼の様な主人は「お前を何處へか賣り飛ばすから一緒に来い」とて昨日主人に引立てられ平町迄一緒に来たが隙を見て逃走「お助け下さい」と平署に駆け込んだもので同署の島田警部補が事情を聴くと最初の

前借金 は百廿圓であつたが働きづぐめの三年

後に及び借金は減る處か四百五十圓の多額にかさんだとの事である、此の調べの最中にテ(三)と二世を契つた村内の某(特に名を秘す)が署内のテ(三)を訪ね来りテ(三)が主人に他所へ賣られるといふので驚いて追ひ掛けたのですが私と夫婦になる事は親達も許して居り借金の一部は現在

家に飼つてあります馬を賣つて支拂ひますからどうぞ此の女を救ふ事の出來ます様解決の運びをつけて下さい

破戒僧捕はる 十七日夜十時頃南町地内を泥酔大聲を發し乍ら歩く托鉢僧を平署員が引致取調すると

同人は石川縣羽佐郡志賀浦町生れ托鉢僧金剛有泉(三)で最近迄平町長橋町木賃宿小島屋に宿泊内郷町好間間等を托鉢中十七日内郷村字御蔭林湯宗昭方で二圓餘の無銭飲食を行つて逃走した

事を見つけたので目下餘罪取調中であるが同人は郡山若松等各地にて無銭飲食の常習を働き其筋のお尋者である

皆主人の物となり私居りますが夫れ等の着物は御蔭林湯宗昭方で二圓餘の無銭飲食を行つて逃走した事を見つけたので目下餘罪取調中であるが同人は郡山若松等各地にて無銭飲食の常習を働き其筋のお尋者である

下る、下る……

労働賃銀、大惨落

すべて好況時代の半分

大部分は五十錢二枚組

平町を中心とする石城地方における労働賃銀は財界不況に直面してますます下る一方であるが最近平町役場で調査した労働賃銀を見ると煉瓦積職人の一圓八十錢が最高でその他は殆ど一圓三四十錢から五十錢銀貨二枚組、こ

査定會に

磐城米落選

濱通標準は相馬米決定

既報十七日縣農會議事堂に於いて催された本年度米の標準米査定會の結果平穀物検査支所管内より提出された候補米はいづれも標準規定に多少相違が有つた爲め石城双葉の候補米はいづれも落選濱通り磐城米の標準米は相馬産米を以て標準米とする事に決定を見た

主家の賣上金

四百七十圓を横領

牛乳配達夫捕はる

犯罪の裏に女あり

平町鎌田町生れ目下北目町鈴木牛乳店芳配達人岡田莊次(三)は本年一月より九月末にかけて主家の賣上代金四百七十圓餘を横領消費してゐたことが其筋の探知する處となり昨十八日平署へ引致目下取調中であるが莊次は幼少の頃より鎌田町岡田牛乳店の配達に雇はれてより實直に勤めてゐたが二三年前現在の鈴木牛乳店に移つたもので昨年中より遊興の味を占め金に行づまつて遂に悪心を起したらしいと

息子の許へ

徒歩で上京

役場へ保護願ひ 仙臺市東一番町生れ養豆業

明日のラジオ 二十日

報豫氣天

今晩も明日も北西の風強く晴れたり曇つたり

今晩の部

後六、〇〇 童話「傳書雀」
莊司義孝
後六、三〇 英語講座 青木常雄
後七、三〇 趣味講演「古川城をめぐる史跡と傳説」
守安信藏
後八、〇〇 連続漫談「とも腹の空つた話」(一)
徳川夢聲
後八、三〇 浪花節「武士

明日の部

前九、一〇 料理献立
前一〇、三〇 家庭講座「母性愛に就て」中山生堂
後一〇、五〇 吹奏樂歌劇

本多子が發企て

日露役の記念碑

木寅次郎氏は野口事務員等と協議の結果明日二十日から「世界館」と改稱することになり本日手續を了した

豊岡國防講演會

石城郡豊岡村在郷軍人青年訓練所にては團員の國防思想普及のため廿八日午後六時より同村小學に於て縣嘱託宮尾歩兵中佐を講師として國防講演會を行ふ筈

縣下に最初の

ベビーゴルフ

平町内各青年分團對抗軟式野球試合は来る二十二、三兩日中平南兩球場にて開催されるが参加チーム多數にて頗る盛會を豫想されてゐる

有聲座の改稱

平町活動常設館有聲座經營者鈴木

「タンタルス王の苦惱」大阪市音楽隊
後二、〇〇 家庭大學講座「常識の講座」(八)森岩岩
後六、〇〇 お話「トネル」の出来るまで」岡田實
後六、三〇 英語講座 村岡博
後七、三〇 趣味講演「福島杉城と私語橋の由來」金徳淳
後八、〇〇 連続漫談「とも腹の空つた話」(二)徳川夢聲
後八、三〇 琵琶「羅生門」永田楚水
後八、五〇 放送喜歌劇「ジャニヌ」寶塚少女歌劇花組生徒

武川未亡人逝く

前平商業學校校長故武川義氏未亡人リン子嬢は永らく病氣中の處十八日午後四時半逝去し本日午後三時長源寺に於て佛式を以つて葬儀執行した

平職業紹介所便り

▲求人部
△農夫 四十才以下、給料面談(夏井村)
△外交員 五十才以下、歩合給(平町保險出張所)
△女給 廿才前後、給料三圓位外チップ(平町カフエー)
▲求職の部
△土工 卅才、尋卒、日給八十錢位(平町)
△商店雜役 廿六才、高卒(平町)

小説 七五七

(八十九)

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫

【載轉禁】

意氣地 (14)
「車夫、ちよつと待つて呉れ。如何かしたようだから」

膝で歩くようにして歌治の側へ寄つた、
「何うした、歌、おい車夫其の灯を見せて呉れ」
歌治は片手を帯の中に片手を地上に着けて呻いて居た。

「いえ、何んでもないわ、いつもの胃が少しばかり痛いんですけれど、すぐよくなりますよ」

苦しげに言つて擡げた歌治の顔を見ると、眞蒼にひさつけてゐた。肩から手首の末梢神経にかけてふる／＼顫いが走る
「胃が悪かつたのか、ひどく痛むか」
「え、か、體を冷したのでせうよ。先刻から工合が變つたから、き、氣が張つて居たもんだから……あ、い……痛い、い、痛い……」

「そ、そいつは困つたなあ、こんな所じや何うする事も……おい車夫、君何にか藥を持つて居ないか」
「藥は持ちや居ませんが、癪なら旦那禁厭に限りませ

「一ツ禁厭いませうか」
「どうするんだ」
「犢鼻褌を首ツ玉に吊るんです」
「莫迦ッ」
源之助はうろ／＼しながら女の背筋を壓たり、胸を摩つてやつたりした、さう

「どうして居るんです、あの支配人の川島が銀行の早乙女や



する内にも、自分の渾身がずき／＼と痛んで立つて居られない程の苦しみであつた。その手を歌治は拂ひ除けるようにして
「もういゝのよ、よござんすよ、あ、あたしの性の知れて居る病氣ですから、た大したことはありません、

暫らくこうして居れば、治まるでしょうから、あ、貴郎構はずに急いでお宅へ歸つて下さいな、よう、早くそうして下さい、若旦那いゝてばさ」
さりさりと齒咬をした。
「そんな、薄情な事が出来るかい、き、急病で苦んで居るお前を置去りをして、俺一人歸へれた義理じやないか、そんな事はこの場合どうしても出来んよ」
「そうじゃありませんよ、お宅の方に今大變な騒ぎが起つて居るんです、あの支配人の川島が銀行の早乙女や

へをツ、そ、そんなことをそりや一体どう……」
愕然として目を睜つた。
「そればかりじゃやないのよ、お、旦那が、そ卒倒なすつて、それはそれは大變な心配な事ばかり……お痛、痛……」
言いかけて身悶した。
「何んだつて!!! 親父が卒倒した、そりや……ほ、ほんとうか、おい」
「だから、わざ／＼……私

が貴郎、早く歸つて下さい、歸りさへすりや、何にも彼も分る事なんですから、一時間でも早く……さうして千代子さんに安心させて下さい……ね、そして、あ私の思いが徹る様に……あ私の心が分つてさへくれりやア、こ、此處で死んでもいいですよ」

木村 外科醫院

平町五丁目橋際
電話三〇九

正確な
メカニクス
無料検眼
各眼科院御用
本根 時計 眼鏡 部 店 手 甲 田 利 和 六 社 有 限 公 司

冬の通學服

當店特製の黒小倉通學服を豊富に取揃へて御座います。

長ツボン付
小學生用……・85錢
同(特製品)……1・90錢
中學生用……2・80錢

なかや洋服店 平二電203

冬も暖かく

- 裏毛メリヤス 三五錢
- 毛メリヤス 一二〇錢
- 婦人みやこ 六八錢
- 婦人毛シャツ 九五錢

モリタヤ洋品店
買ひ良き店5丁目電353

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科
大和田醫院
平南町(電話一七〇番)

お醤油は……ヤマフル

醬油味噌
たひら正宗
鯉節食料品

鹽屋
金山崎合名會社
電話(營業部)平二電二七番
(醸造工場)二七番

院醫吹矢

科兒小科内
科病柳花

り通社縣町治鍛古
番六六二電

コンパルの改築

3階には西洋間が出来ました。
2階は宴會のホールと日本間。
1階の食堂は廣くなりました。

洋食茶會
電六六六番
平驛前通
舊倍の御引立を偏に御願申ます